



平成31年度

須田小学校だより

平成31年4月24日(水)

回覧

須田っ子

第2号

学校教育目標「すすんで心や体をすこやかにする子」SA・SU・CA・DA

いつでも どこでも 一人でも (2019.4.19 交通安全教室)



子供の視野は、大人より左右上下ともに狭いです。もし、写真の点線より外側に、自動車や信号機があると、意識しないと「見えない」ことになります。全校交通安全運動「笑顔でべこり」には、運転手さんへの感謝とともに、自動車の停車確認をする心の余裕をもつという、2つの意味が込められています。



チャイルド・ビジョン

校長 内山 晋

大人に比べて子供の視野は意外に狭い。それを体験できるキッズがウェブ上から無料で手に入ります。その名も「チャイルド・ビジョン」。早速のぞいてみると「狭い」と実感しました。上の写真で点線の外側は、子供には見えない「死角」です。このことを前提に、子供の指導をさらに徹底します。

心のチャイルド・ビジョン

視野の広さは、目だけではありません。心にもあります。複数の立場(根拠)で、考えられるか。これからのAI時代を生き抜くために必須の学力です。

「KUNSUJISU誰〜」と質問したところ…

かめ・うさぎ・友だちに、ほぼ同数で分かれました。

(昨年、圧倒的なかめ派)

確かに「努力」を、「からかう」悪い「は単純に分かり易い」です。でも、見方を変えて、かめを応援し続け

た友達、深くかめに謝るうさ

ぎ、さらに、居眠りしたうさ

ぎを置き去りにしたことを反省する。誰が偉いことを決められるでしょうか。一見、単純な昔話でさえ、子供の視野(チャイルド・ビジョン)は広がっていきます。

無意識を意識する教育活動

視野を広げるためには、無意識に(単純に)考える脳を活性化させるツール(道具)をどれくらい持っているかが重要になってきます。

「広がりツール」
多様な考えを引き出す「対話スキル」や「ホワイトボード」、グループ学習など

「絞り込みツール」
一見バラバラに見える考えを整理(似ている・違う)する「思考ツール」の開発

特に「絞り込み」は、一時間の授業の質を左右します。「自分」と「他者」の考えをこすり合わせる中から、自分の考え(納得解)を導き出す力を、時間をかけて育てていきます。「須田小アンテナ」(人間関係作り方針)と同様に、保護者の皆様にもお示ししながら、共通の認識に立ち進めてまいります。※七月の学習参観日までに提示予定



須田小

イイね!

自分で考えた新学期の「めあて」が、各教室に掲示されています。3週間経った今、再確認が必要です。子供は、言葉という抽象度の高いものを常に意識して振り返ることは難しいです。日々の学校生活の具体的な出来事と結び付ける「翻訳家」が必要です。一番の適任者が身近な「大人」です。4月で出来たこと・出来なかったことを明確にして、一步一步「めあて」に近づく実感をもたせる指導を続けます。



4/8(月)入学式
平成31年度から令和元年度へ。期待と緊張が入り交じった表情を浮かべる16名の新一年生たち。



4/15(月)数千年の時を超え
6年生は、加茂市民俗資料館の学芸員を講師として、歴史学習を行いました。遺跡から発掘した、生の昔の生活用品を手に取り、違いにビックリでした。



4/19(金)交通安全教室
学んだことを実際の道路で生かすことができるように、加茂警察署の署員の方から指導していただきました。



4/20(土)一年生を迎える会
学習参観日・育友会総会
新6年生企画デビューイベントの一年生を迎える会。初めての学習参観授業など、多数ご来校いただき有り難うございました。



4/23(火)ありがとう集会
毎日の子供たちの安全を見守る地域の方々。感謝の気持ちだけでなく、自らの安全を守る決意も確かめ合う会をしました。

須田小eマガジン
ここへ



「止まる 右・左・右」
命を守る合い言葉

